

# 令和5年度運輸防災マネジメントセミナー&運輸防災ワークショップ開催のお知らせ ～ 運輸防災マネジメント強化キャンペーン～

## 1. 九州運輸局開催日

第1回：令和5年5月29日（月）14:00～16:30

第2回：令和5年6月 1日（木）14:00～16:30

※詳細については、次項の6. プログラムを参照

## 2. 方式及び開催場所

方式:WEB及び対面のハイブリッド方式（ワークショップへの参加は、対面を推奨）

開催場所:九州運輸局10階中会議室（福岡市博多区博多駅東2-11-1）

※WEBの場合、Microsoft Teamsを使用

## 3. 主催

国土交通省大臣官房運輸安全監理官・参事官（運輸安全防災）

九州運輸局

## 4. 趣旨・目的

運輸防災マネジメントは、運輸事業者の自然災害への対応力の向上を目的としています。

令和5年度も昨年度に引き続き、運輸防災ワークショップと連携して運輸防災マネジメントセミナーを出水期対策等の強化キャンペーンとして集中的に実施することにより、

風水害等に対する運輸事業者の対応力の向上を目指します。



## 5. 内容

### 運輸防災マネジメントセミナー

#### ◆運輸防災マネジメントのポイント

経営トップの責務、自然災害リスク評価と  
その対応、防災の基本方針、各種訓練 他

#### ◆取組事例、参考情報等の紹介

車両等避難タイムライン、計画運休の情報  
発信等、荷主との事前調整 他

### 運輸防災ワークショップ

#### ◆気象情報

警報・注意報等の見方等

#### ◆河川情報、ハザードマップ等

河川水位、ハザードマップの見方等

#### ◆重ねるハザードマップの活用方について

ハザードマップの見方等

#### ◆出水期に向けた災害対策について

※ 当該セミナー・シンポジウムでは、荷主の方と運輸事業者の事前調整による配送の中止・ルート変更等についてもテーマとしています。運輸事業者のみならず、荷主企業の皆様も是非ご参加下さい。

## 6. プログラム

時間	題 目
14:00~14:05 (5分)	開会挨拶 (九州運輸局 総務部安全・防災危機管理調整官 伊藤 元育)
14:05~14:20 (15分)	風水害で気象台が提供する防災気象情報 (福岡管区気象台 気象防災部気象防災情報調整官 堤 雅也)
14:20~14:35 (15分)	河川防災情報の活用 (九州地方整備局 河川部水災害予報センター水災害対策専門官 最所 敏明)
14:35~14:55 (20分)	運輸防災マネジメントセミナー (国土交通省 大臣官房運輸安全監理官室主任安全調査官 阿嘉 毅)
14:55~15:10 (15分)	重ねるハザードマップ等の活用法について (国土地理院 九州地方測量部防災情報管理官 福崎 順洋)
15:10~15:20 (10分)	質疑応答
15:20~15:25 (5分)	セミナー閉会・ワークショップ連絡事項
15:25~15:35 (10分)	休憩
15:35~16:25 (50分)	出水期に向けた災害対策について（経験を踏まえた対策等）
16:25~16:30 (5分)	閉会 (九州運輸局 総務部安全・防災危機管理課 課長 齋藤 光則)

※赤枠部分は、選択制（ワークショップ参加者のみ）。WEB参加の場合は各自でカメラを準備。  
 ※プログラム終了時に運輸事業者の取組状況、課題等を把握するための簡単なアンケートをご用意しておりますのでご協力をお願いします。

## 7. お申込み方法

国土交通省HP運輸安全においてお申込みを受付致します。

以下のURL又はQRコードよりアクセスして下さい。

URL : [https://www.mlit.go.jp/unyuanzen/unyu\\_bousai\\_campaign2023.html](https://www.mlit.go.jp/unyuanzen/unyu_bousai_campaign2023.html)

QRコード



## 8. お問い合わせ先

九州運輸局 総務部 安全防災・危機管理課 092-472-2318 白水（しろうず）・齋藤

## 【九州運輸局ワークショップ】

# 出水期に向けた災害対策について（経験を踏まえた対策等）

### 【今年度のテーマについて】

- 「出水期に向けた災害対策について（経験を踏まえた対策等）」として、九州独自のテーマでの開催を予定しております。
- 出水期前の「運輸防災マネジメントセミナー＆ワークショップ」の開催は今回で3年目となります。前回のアンケートから「経験談が参考になった」「各社のとりくみが発言しやすい方がよい」という意見をいただいているところです。
- 運輸防災マネジメント指針でも、他社のとりくみを自社の取組みに反映させることを効果的としています。そこで、実際の各社の取組を共有していただくことで、実践的な災害対応力の向上を図ることを目的として今回のテーマを設定させていただきました。

### 【ワークショップの流れについて】

- ワークショップの事前準備  
事前調査票を提出（5月中旬～下旬）  
（調査事項・案）
  - ・台風・豪雨等の災害の発生が予見された際の事前対応策
  - ・河川の氾濫や高潮の危険性が高まった際の対応（避難ルート、情報収集方法等）
  - ・豪雨や台風被害を受けた経験がある場合、その後の対応
- ワークショップ当日
  - ①鉄道・自動車・海事等のモード単位でグループ分け  
※参加者の参加状況でグループ分けは適宜変更いたします。
  - ②事前提出いただいた調査票の内容を各社で発表
  - ③意見・情報交換
  - ④運輸局からのまとめ

### 【補足事項】

- ワークショップについては、活発な議論を行い、意見を交わすことが重要なため、対面での参加を推奨しております。（WEBでの参加も可能。）
- 調査票については、申込み時に記載いただいたメールアドレスに後日、送付いたします。（可能な範囲でご記載ください。）